

# 東京2020パラリンピックに出場した 多摩市在住の土田和歌子選手に聞きました

コロナ禍で開催された2021年の「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」に挑む選手の皆さんに、私たちは大いに勇気づけられたのではないかと思います。

今回、たま市議会だより編集会議では、オンラインを初めて活用し、多摩市在住のパラリンピアンである土田和歌子さんにインタビューを行いました。

聞き手：「たま市議会だより」編集会議



**土田和歌子選手**  
1974年、東京都出身。日本人初の冬季・夏季両方のパラリンピック金メダリスト。通算8度目のパラリンピック出場となる東京2020パラリンピック競技大会では車いすマラソン4位入賞、パラトライアスロン9位。

## たま市議会だより編集会議(以下、編集会議)

多摩市は「多摩市障がい者への差別をなくし共に安心して暮らすことのできるまちづくり条例」のもと、「共に生きる地域」の実現に向けた取組を進めています。「バリアフリー」についてどう感じですか。

## 土田和歌子選手(以下、土田選手)

「バリアフリー」は、それぞれの立場で考えていくべきものであり、また、答えは一つではないと考えています。例えば、車いすにとっての段差はバリアの一つですが、障害の種類によっては段差を注意喚起の一つと捉える場合もあり、同じ段差でも「切り口」によって評価が異なってきます。「何がバリアなのか」については正解がない。要するに「個」に注目し、見てもらうことが大切です。また、障害の有無にかかわらず、考え、語っていく必要があると思っています。

## 編集会議

多摩市の住みやすさ、環境についてはいかがですか。

## 土田選手

人によって「住みやすさ」や特にバリアフリーについては、意見が異なってくると思います。私個人としては、今のところは「妨げ」を感じることは少なく、住みやすいかなと思います。

## 編集会議

多摩市のスポーツ環境についてはいかがですか。

## 土田選手

やはり、トレーニング環境を充実させるといこと、練習がとても大切です。陸上競技場、アクアブルーなど利用しています。陸上競技場の管理をされているみなさんには本当に良くしていただき、お世話になっています。ただ、安全に「ロードワーク」をするところが少ないため、そこは市外でトレーニングを行っています。

## 編集会議

多摩川沿いなどで練習をされたりするのですか。

## 土田選手

サイクリングロードもありますが、市をまたぐと同じサイクリングロードであっても使い勝手、ルールが異なっている場合もあるようです。また、今はランナーが多くなり、混雑していてなかなか難しいですね。



パラトライアスロン(バイク)  
土田選手提供

## 編集会議

子どもたちにパラスポーツを広げていくことは障がい者への理解を深めるためにも大切なことですよね。

## 土田選手

東京2020大会が、子どもの関心を高めるビックチャンスだったのですが、無観客になってしまったことは残念でした。でも、

メディアでは多く取り上げられ、パラリンピックも注目されたのではないかと思います。学校教育でもパラスポーツへの理解促進の取組が行われたことは大きな進歩だと感じています。現実的にはパラスポーツ選手は少ないので、子どもたちに直接関わりたいと思っても、なかなか難しい。でも、動画などを活用していけそうですね。

## 編集会議

多摩市議会に期待することは…。

## 土田選手

「今、ないものを変えていく」というのが政治家の皆さんの役割ではないかと思っています。「望ましい社会」をつくるために、こうしたインタビューの機会をいただき、意見を述べる事ができるのはありがたいです。まずは知ってもらうこと、そして、感じてもらうこと、そこからいい形に活かしてもらえたらと思っています。



## 編集後記

「充実した暮らし、競技生活を送らせてもらい、多摩市立陸上競技場をホームグラウンドとして、日々気持ちよく練習をしています」と終始笑顔でインタビューに応じてくださった土田選手。

次期2024年のパリ大会をめざした練習も始まっています。10年以上多摩市に住み、働き、そして子育ても！市内のおすすめスポットとしてあげてくださったのは、ご近所でもある都立桜ヶ丘公園の高台。「ここからの景色は、混雑した東京を忘れさせてくれる。癒される」とのことでした。

また、子育てのエピソードも伺い、「困っていることをどこに相談に行ったらいいかわからない場合が多い。身近に気軽に相談しやすい場所を増やせると良いと思います」と貴重なご意見をいただきました。ありがとうございました！

「バリアフリーについては一人ひとり立場によって意見は異なり、違って来る」とのご指摘はまさに「共生社会」を考える原点とも言えます。「誰にとっても住みやすい多摩市」をめざし、私たち議会も取り組んでいきたいと思っています。